

令和7年芽室町議会定例会3月定例会議一般質問

当日資料1

令和8年3月17日再開

質問議員 氏名	質問項目	質問の内容・要旨	答弁を 求める者
菊地 秀明 (45分間)	1 ゼロカーボン推進と環境保全の両立に向けた条例制定について	<p>本町は、2050年ゼロカーボン実現に向け「芽室町地球温暖化防止実行計画（区域施策編）」を策定し、再生可能エネルギーの導入を推進しています。</p> <p>しかし、本町は農地・防風林・河川水系など環境機能に支えられた自治体であり、ゼロカーボンの推進と自然環境・生活環境の保全をいかに両立させるかが重要な課題となっています。</p> <p>近隣自治体の例としては、上士幌町が届出制、釧路市は許可制による実効性ある条例を制定し取り組んでおり、本町においても、ゼロカーボン推進と環境保全を両立させる実効性ある条例の制定が重要と考え、次の5点について町長の見解を伺います。</p> <p>(1) 条例に規定しようとする制度の骨格（届出制か許可制等）について、見解を伺います。 (2) 農地・森林・河川等、防災上重要な区域の位置付けと設置可否の判断基準について、見解を伺います。 (3) 環境保全および防災の観点からの設置基準について、見解を伺います。 (4) 事業終了後まで見据えた責任担保の制度について、見解を伺います。 (5) 条例の実効性確保と違反への対応について、見解を伺います。</p>	町長
渡辺洋一郎 (40分間)	1 地域福祉の担い手確保と持続可能な相談支援体制の構築について	<p>本町では、現在、複数地区において民生委員が不在となっており、地域における見守りや相談支援体制への影響が懸念されます。民生委員は地域福祉の担い手であり、その確保は喫緊の課題です。</p> <p>「第5期芽室町総合計画後期実施計画（以下「第5期総合計画」という。）」では「誰もが健康で自分らしく笑顔で暮らせるまちづくり」を基本目標に掲げ、「地域で支え合う福祉社会の実現」を施策の柱として位置付けています。</p> <p>また、「第5期芽室町地域福祉計画（以下「第5期地域福祉計画」という。）」では、「誰もが孤立せずに支え助け合う、思いやりに満ちた共生のまちづくり」を基本理念とし、身近な地域で保健・医療・福祉の相談ができる体制の整備が目標に掲げられています。</p> <p>しかしながら、担い手不足が進む中、従来の体制の維持だけでなく、新たな支援体制の構築が必要と考えることから、次の3点について、町長の見解を伺います。</p> <p>(1) 民生委員の欠員が生じている地域の状況と、その要因について町長の見解を伺います。また、欠員が地域の見守り活動や相談支援体制に及ぼしている影響について、町長の見解を伺います。 (2) 民生委員の担い手確保に向けて、これまで町が行ってきた取組の内容と、その成果及び課題について町長の見解を伺います。また、欠員が生じている地域における代替的な見守り体制について、現在の取組実績と今後の展望を伺います。</p>	町長

質問議員 氏 名	質 問 項 目	質 問 の 内 容 ・ 要 旨	答 弁 を 求める者
(渡辺洋一郎)		(3) 民生委員の活動に対する支援強化や負担軽減策について、町としてどのような取組を検討しているのか、町長の見解を伺います。さらに「第5期総合計画」及び「第5期地域福祉計画」に掲げる「地域共生社会の実現」に向けて、地域の持続可能な相談支援体制の構築に向けた展望について、見解を伺います。	
堀 切 忠 (45分間)	1 義務教育の完全無償化に向けた独自の取組の充実について	<p>憲法第26条では「義務教育は、これを無償とする。」と明記しています。しかし現実には、教材費・学用品費・給食費・修学旅行費・PTA会費など、保護者が負担せざるを得ない費用が存在し、憲法の理念と現実の間には大きな乖離があります。</p> <p>文部科学省が令和6年12月に公表した「令和5年度子供の学習費調査」によれば、公立小学校の学習費総額は年間36万6,599円（平成30年比1.14倍）、公立中学校は平成30年比1.11倍と増加しており、物価高騰の影響が保護者の家計に直撃している実態が明らかです。</p> <p>第5期芽室町総合計画後期実施計画（以下「後期計画」という。）も残り1年となった今、令和4年12月定例会議をはじめこれまでのやり取りを踏まえて、次の3点について教育委員会の見解を伺います。</p> <p>(1) 本町において、教育費用全体について、保護者負担の実態を把握しているのか否か、把握しているのであればその内容と評価について見解を伺います。</p> <p>(2) 後期計画で取り組むとした「教育の機会均等などの学びのセーフティネットの構築」について、成果と課題をどのように総括しているのか、また、いっそうの負担軽減に向けた取組を、第6期芽室町総合計画において、どのように位置付けて推進する考えなのか、見解を伺います。</p> <p>(3) 給食費は、すべての児童生徒に共通する費用であり、保護者負担の軽減策として最も普遍的かつ効果の高い施策です。令和4年12月の一般質問以降3年が経過しましたが、その後の検討状況はどのようになっているのか、物価高騰が続く今日、小学校にとどまらず中学校を含めた給食費の無償化を実現すべきと考えますが、見解を伺います。</p>	教育委員会

令和7年芽室町議会定例会3月定例会議一般質問

令和8年3月18日再開

質問議員 氏名	質問項目	質問の内容・要旨	答弁を 求める者
木村 淳彦 (90分間)	1 持続可能な 財政運営と公 共施設・イン フラ更新、将 来投資の両立 と優先順位に ついて	<p>近年全国の自治体を取り巻く財政環境は大きく変化しています。物価、人件費、建設資材・労務単価の上昇により、自治体の公共施設の維持管理費や工事費は増加傾向にあり、加えて人口構造の変化や担い手不足への対応など、自治体の役割も拡大しています。</p> <p>本町はこれまで健全財政を維持しつつ各施策を進めてきましたが、高度成長期に整備した道路・橋りょう・上下水道・公共施設の老朽化対策は喫緊の課題であり、指定管理施設の人件費上昇や公共工事単価上昇など支出増も見込まれます。</p> <p>必要な職員給与の上昇、既存事業の維持管理の増を含め、本町の財政は、経費が毎年着実に増加していく構造となっています。生活インフラ更新と将来投資のバランス、優先順位、財政見通しを中長期で町民と共有するため、次の5点について、町長の見解を伺います。</p> <p>(1) 今後10年の財政見通しと必要な更新・投資を実行するための投資余力をどのように見込むか、見解を伺います。</p> <p>(2) 老朽インフラの維持更新と、再開発・観光振興・民間活力導入等の新規投資の優先順位をどのように考えるか、見解を伺います。</p> <p>(3) 委託・工事・指定管理等における人件費上昇への対応方針と、地域経済への影響をどのように捉えるか、見解を伺います。</p> <p>(4) 民間投資誘発やPFI等を活用する場合、長期負担（支払総額・将来負担）をどのように把握し、直営との比較検証をどのように行うか、見解を伺います。</p> <p>(5) 公民館等をはじめとする公共施設の指定管理等の運営手法について、今後の管理経費の長期見通し、長期コストの把握の考え方について、見解を伺います。</p>	町長

質問議員 氏名	質問項目	質問の内容・要旨	答弁を 求める者
正村紀美子 (60分間)	1 芽室公園再整備基本構想及び Park-PFI 事業の財政計画と事業優先順位について	<p>芽室公園再整備基本構想（案）は、町民の声を反映した意欲的な内容である一方、事業費や維持管理費、優先順位などの財政的裏付けは基本計画策定時の検討とされ、現段階では不明確です。また、特に懸念するのは、本来、基本構想→基本計画→個別事業という順序で進めるべきところ、上位計画である基本構想の策定前に Park-PFI 事業が先行して公募・事業者選定・費用負担まで確定している点です。</p> <p>今後 20 年を見据えた大規模公共投資であり、人口減少・財政ひっ迫が懸念される中、計画順序の逆転や財政的裏付けの不明確さは、町財政や他の施策への影響も含め、総合的な判断を欠く恐れがあることから、次の 3 点について、町長の見解を伺います。</p> <p>（1） Park-PFI 事業に係る町の負担と、基本構想に基づく公園再整備事業の町負担を合わせた、芽室公園再整備に係る投資総額はどの程度の規模になると見込んでいるのか、町長の見解を伺います。また、本構想に掲げる各整備内容の概算事業費と整備の優先順位、並びに中期財政計画との整合をどのように整理しようとしているのか、併せて見解を伺います。</p> <p>（2） 芽室公園を防災拠点としてどの水準まで位置付け、収益機能との優先順位をどのように整理するのか、町長の見解を伺います。</p> <p>（3） 再整備後の年間維持管理費の増減見込みと財源確保の考え方をどのように整理しているのか、町長の見解を伺います。</p>	町長
鈴木健充 (40分間)	1 現下の諸課題への対応と今後の町政展望について	<p>手島町長が町政執行責任者となり、2 期目も残すところわずかとなりました。</p> <p>現在の芽室町における喫緊の課題は、長期化する物価高騰の影響が、町民生活の深刻な不安をもたらしていることであり、加えて、基幹産業である農業をはじめ、あらゆる産業分野において、経営環境の悪化が顕著となっており、地域経済全体が厳しい状況に直面しています。</p> <p>所得の伸び悩みが続く中、町財政においても多大な影響を受けており、現下の課題解決に向けた施策の推進と将来を見据えた町の持続的発展を両立させることが求められております。</p> <p>こうした重要な局面において、第 5 期総合計画後期実施計画の進捗状況をどのように捉えているのか町長の見解を伺います。</p> <p>（1） この約 4 年間の町政運営を振り返り、現時点での総括と評価について、見解を伺います。</p> <p>（2） 町財政が厳しい状況にある中で推進されている「Park-PFI 事業」は将来のまちづくりに極めて大きな影響を及ぼすものと考えます。この事業に対しては町民の間でも様々な声があると承知していますが、町政執行責任者として、この事業にかける町長の確固たる信念と展望について見解を伺います。</p> <p>（3） 手島町長におかれましては、2 期 8 年にわたり町政の舵取りを担ってこられました。これまでの実績を総括し、今後の芽室町の進むべき方向性について、どのような決意をお持ちか、現時点でのお考えを伺います。</p>	町長